

100年 先を読む

40

想像できることが 成功の 秘訣である

▶ 発明に必要な想像能力

自動車王H・フォードに「想像できることは何事も実現できる」という名言がある。アメリカの画家S・モールスは1832年に欧州から帰国する帆船の食堂で、長大な電線に通電したら電流は次第に減衰するかという議論を傍聴していた。一人の医師の距離による減衰はないという（間違った）説明に興奮したモールスは電線の途中で電流を測定すれば情報を伝達できると発想、アメリカで特許を出願し、1837年に有線通信の特許を取得した。医師の一言から想像した成果である。

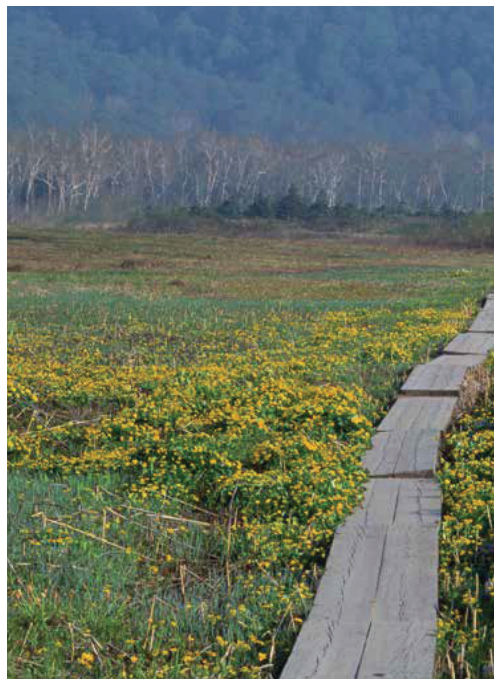
現在の自動車のフロントガラスは衝突しても粉々にならない素材が使用されている。自動車が普及しはじめた20世紀初頭、パリ市内の交通事故で粉々になったフロントガラスの破片で少女が死亡した。そのニュースによりフランスの化学技師E・ベネディクトゥスは、以前、実験室内の机上から落下したフラスコが内側に粘着していた薬品の効果で粉々にならなかったことに気づいた。その結果、2枚のガラスの中間に化学樹脂を接着した安全ガラスが登場した。

▶ さらなる難題は需要の見極め

しかし、すべての想像の成果が事業として成功するわけではない。生涯に2186の特許を取得したT・エジソンの最初の特許は「電気式投票記録機」であった。議員が賛成か反対かをボタンで表明すると一瞬で賛否が表示される装置である。各地の

議会で売り込んだが、まったく採用されなかった。議案に反対する少数野党が牛歩戦術を頻繁に利用していた時代で、一瞬で採決が確定する装置は無用の長物であった。以後、エジソンは需要のない技術は開発しないと決心した。

しかし、需要を見極めることは容易なことではない。エジソンの三大発明は「蠟管式蓄音機」(1877)、「白熱電球」(1879)、「映画撮影装置」(1888)とされるが、蠟管式蓄音機を発明したとき、その利用方法として本人が列挙した順序は速記の代用、書物の朗読、話術の手本、音楽の鑑賞であった。



当時の装置の音質では音楽の鑑賞に適切ではなかったにしろ、エジソンにしてさえ以後の利用の大半は音楽の鑑賞であることを見抜くことはできなかった。

▶ 想像の対象は モノから情報へ転換

ここまで紹介した4例に共通する特徴は想像した対象がモノであったことである。モールの発明した有線通信は情報技術ではないかと反論されるかもしれないが、想像された技術は電線というモノを敷設することであり、その内部を往来する情報は対象としていなかった。蠟管式蓄音機も音楽という情報を対象にした技術ではなく、音楽を録音し再生する装置というモノを対象にした想像であった。すなわち工業社会の枠内での想像でしかなかった。

しかし、情報社会に移行した時代の想像の対象は情報自体に転換する必要がある。GAFGAの一人であるグーグルの検索サービスは、世界の多数の人々がウェブサイトに掲載した情報を有効に利用するビジネスであり、フェイスブックも多数の



人々が交信する膨大な情報がビジネスの資源である。アマゾン商品というモノの配送を商売としているようであるが、本質は人々が必要としているモノの情報の膨大な集積であり、それがビジネスの源泉である。

▶ 想像は行動により結実

その変化を証明するのは媒体別広告費の変遷である。書籍、雑誌、新聞などは情報を掲載したモノを生産して流通させ、広告収入が媒体を維持してきた。ところが短期で経済構造に激変が発生した。1990年代に新規に登場したインターネットを媒体とする広告収入が2004年にラジオ放送を逆転して以来、2006年には雑誌、2009年には新聞、そして2019年にはテレビジョン放送を凌駕し、現在では企業が支払う広告費用の半分がインターネット広告に集中している。

かつて情報が印刷媒体で流通していた時代には、それを入手し解析するためには時間と資金を必要としたが、電子媒体が主流の現在は桁違いに簡単な手間と安価な費用で情報を入手し解析することが可能になっている。その情報を利用する想像能力があれば、ビジネスの機会は企業の規模に関係なく提供されている。ただし、名優C・チャップリンの「想像できても行動しなければ意味がない」という名言を添付して、読者の皆様の行動を期待したい。



東京大学名誉教授

つきお よしお
月尾嘉男
Tsukio Yoshio

昭和17(1942)年生まれ。東京大学工学部卒業。工学博士。コンピュータ・グラフィックス、人工知能、仮想現実、メディア政策等を研究。全国各地でカーヌーとクロスカントリースキーをしながら私塾を主宰し、地域の有志とともに環境保護や地域計画に取り組む。著書に「幸福実感社会への転進」(モラロジー研究所)、「転換日本」(東京大学出版会)ほか多数。